

Weekly Report

国際ロータリー第2750地区 東京多摩グリーンロータリークラブ

1993~1994年度クラブ目標 “出会いを大切にしよう……例会で、みんなが、待っている”

第161回 例会報告 (2/16)

司会者 SAA

伊藤 英也

◇点鐘

会長 横倉 舜三

◇ロータリーソング「手に手をつないで」

ソングリーダー 菊池 敏

◇お客様紹介

会長 横倉 舜三

小島 明様

(東京飛火野RC)

竹尾 正巳様

(東京城西RC)

山田 宗一様

(東京世田谷RC)

伊野 弘明様

(多摩青年会議所理事長)

秋山 和夫様

(" 直前理事長)

秋場 利子様

(" 副理事長)

新倉 隆様

(" 副専務)

多摩青年会議所理事長

伊野 弘明 様

当多摩青年会議所も本年をもって成立20周年を迎える事が出来ました。又本年青年会議所のスローガンを“人と楽しみ、町と楽しみ、人生を楽しむ”と、掲げ全メンバー今年一年このスローガのもと、明るく豊かな町作り、人作りに邁進する所存であります。

尚、20周年式典を5月22日、大妻女子大学にて

行いますので多数の方のご出席を賜りたいと思います。また20周年記念事業として「ストップ・ザ・エイズ」と題して地域でエイズ問題の何かができないかと思ひ、エイズの基本的知識、対応に付いて研修会を開く事を1年間の目標にして、自営業者、主婦、学生を対象に月1回の研修会を開き話動を行います。3月17日、7時よりバルテノン多摩、第一会議室にて行いますのでよろしくお願い致します。

◆ 会務報告

会長 横倉 舜三

昨日多摩東分区連絡会が開催され、その報告を致します。

- 1)ロータリー財団奨学生の応募に分区で17名ありました。第一次選考会(人物選考として態度、言語、動作、服装などを重点に)2月27日に行われます。上位6名を選考し地区に報告するとのこと。当クラブからは奥田博子さんと斉藤正樹君が応募しております。
- 2)当クラブとして提出した意義ある業績賞については、審査が行われているとのこと。
- 3)国際大会の出席者は東分区からは会員157名が出席、家族を含めて203名が参加するとのことです。

◆ 幹事報告

幹事 北村 幸彦

1) 地区大会の出席率

第3回多摩東分区連絡会において3月4日、5日に行われる地区大会の出席率の発表がありました。

府中RC	100%
多摩RC	83.3%
調布RC	68%
多摩グリーン	65.3%

当クラブの出席率が今一つですので出席可能な方は今からでも申し込んで下さい。

2) 会員名簿、手帳の件

1994～1995年度版

ロータリー全国会員名簿 1組 4,500円

ロータリー手帳 1部 600円

以上の申込につきましては先週申し上げましたが締切りは2月18日迄ですのでお忘れの方は至急申し込んで下さい。

3) 年会費納入のお願い

こちらも再度のお願いですが年会費未納の方がまだ何人かおられます。整理の都合もありますので至急納入下さい。

◆ 次年度会務報告

会長エレクト 宮本 誠

2月9日第1回被選クラブ協議会を行い3月2日までに次年度の活動計画原案を作っていただき、協議後5月末までには被選理事会として承認して印刷を行いたいと思います。

委員会報告

◆ 出席委員会

委員 根本 泰守

	総数	出席	MU	欠席	出席率
本 日 報 告	53	45	0	8	84.91%
前 回 訂 正	53	45	4	5	90.57%

メイクアップ なし

欠席届出者

遠藤 二郎、萩生田 茂夫、奥木 博勝

高野 範城、津守 弘範、横倉 謙

欠席者

隅 耕造

★★★★★★★★★★

ニコニコ BOX

★★★★★★★★★★

委員 村上 久

中山順一郎 ニュータウンタイムズに載せてもらいました。早速予約が入りました。

橋本 幸夫 過日は結婚祝を頂戴しまして有難うございました。

北村 幸彦 竹尾様、山田様、本日はご苦労さまです。卓話よろしくお願ひします。

大松 誠二 モンゴル募金(サインバイノウ)への御協力本当にありがとうございます。

平野 行廣 雪には困りましたね。

森田 舞子 吉沢先生ありがとうございました。

吉尾警太郎 二日酔いです。

伊神 稔 連続欠席しましたので

伊藤 英也 雪の旅無事に帰ってきました。

村上 久 雪のために仕事がさっぱりです。

以上 合計 21,000円

◆ ロータリー豆知識

ロータリー情報委員長 赤尾 恭雄

今週の豆知識は国際大会、国際協議会、国際研究会の三点です。

◆ 国際奉仕委員会

委員長 大松 誠二

サインバイノウ募金

本日募金額20,000円累計¥354,000-(14名)

今回で目標達成となりましたので本日にてサインバイノウ募金を終了させていただきます。

皆様方のご協力にお礼申し上げます。

なお、モンゴル大使館、商務官ガンホヤック様よりお礼の手紙がきていますので披露させていただきます。

駐日モンゴル国大使館
商務官 P.ガンホヤック

多摩グリーン・ロータリー・クラブと我がモンゴル国との交流が益々幅を広げていることに心から喜んで居ます。

我が国の市場経済への移行期のこの困難な時期に貴クラブが支援物資、ノート、エンピツを送って戴いたのにもかかわらず人材育成に貢献するプロジェクトを考えて戴き、1993年12月9日から1994年1月9日の間に一月間モンゴルから看護婦たち4人を招き、日本の老人ホーム施設で研修させたことは両国民の交流のもう一つ新しい形ができたと思います。

研修生たちの話を聞きますと今までの自分達の看護婦の仕事をまるで180度変えないといけない、病人の世話をするというのは薬を与えとか、注射するとかでかぎっちゃいけないと言うことが分かりましたと言いました。本当にそうでしょうね。

今まですべての病院が国営でサービスも良くない、勿論利益を生むという考えはなかったので余分な資金も使わなかったと思います。今は違います。市場経済で病院のサービスも良くしないとイケません。看護婦たちの考え方もそれに合わせて変えなければなりません。こんな時期に合わせて行ったこのプロジェクトは本当に良かったと私は思います。

この研修を実現させるために横倉会長はじめロータリーアンの皆様が本当に努力して下さったことに対して感謝の意を表します。

そして受け入れて下さった楽友会の新海理事長はじめ施設の皆様に感謝いたします。

多摩グリーン・ロータリー・クラブの皆様のご健康とご発展を祈ります。

1994年1月27日

卓 話 (2/9)

来日交換留学生
リビー・ビルダーバック(アメリカ)

多摩グリーンロータ

リークラブの皆さん、今日は。私はエリザベス・ビルダーバックです。今日、私を呼んでくださりましてありがとうございます。



私は今日の為に3回スピーチを書き直しました。

はじめのスピーチはインディアナ州にある私の街エバンスビルについてでした。2番目のスピーチは東京での私の生活についてでした。このスピーチは違います。

私が日本で本当に感じた事についてだからです。

私は日本が素晴らしい国だとか、日本が好きだとかをいう為にだけ書いたものではありません。

私は日本人達についての私の考えをお話ししたいと思います。

私が日本に来る前に、私のお父さんはこう言いました。

「何で日本に行くの?後悔するぞ!どこでも同じだ、エバンスビルでずっと暮らすのに」と言いました。

私はお父さんに「全然違う、絶対エバンスビルに住まない、どこでも同じではない、でも人達は皆人間だからだいじょうぶ」と言いました。

私の街は30万人位です。お母さんとお母さんの旦那さんと彼等の息子と私は一緒に住んでいます。彼等の息子は、サムという名前です。私のお父さんとお父さんの奥さんと彼等の息子と娘と一緒に住んでいます。彼等の息子はブランドンという名前です。12才で

す。彼の娘はモリーという名前です。6才です。私が18ヶ月の赤ちゃんの時、私の両親は離婚しました。

私は23軒の違う家と三つの違う州に住んでました。私には7人の兄弟がいます。

だからその中でいろいろな環境になれることを学びました。

私は日本に来て初めて日本人の生活を見ました。米国で私は日本の悪い事も聞きました。

それは日本についてジェラシーと日本人のことをよく知らないからだと思います。

日本にくる前日本についての本を読みませんでした。だって他の人の意見でなく、自分の目で日本を見たかったからです。体験を通して学ぶ事が大切だと思います。

日本に来てから私は日本の素晴らしさについて沢山聞きました。

日本人は素晴らしい人達だと思いました。そして日本の本を読み始めました。

日本の文化と日本人の感じかたと考えかたとかについて読みました。どの本の著者も日本人はすごく良い人達だと書いていました。

でも或る日、日本のお友達の子が私につばをかけました。同じ州に男の人が留学生のアシエリーを皆段で押しました。だから私は、困りをよく見る事にしています。

日本と米国人は同じだと思います。どの国でも良い人達、悪い人達、親切な人達、不親切な人達、ハンディキャップのある人達と偏見を持つ人達がいます。

でも人達の生活は違います。だって国が違うのですから。例えば日本はご飯と、沢山の山の産物と魚があります。でもインディアナ州にはありません。しかしインディアナ州に

はビーフと小麦とコーンがあります。

だから生活様式は全然違います。でも人間の心は同じだと思います。米国の家族も日本の家族も根本は同じです。

日本も米国も大きい家族と小さい家族があります。全世界で家族は同じです。しかしどの家族も違う構成を持っています。

だからホストファミリーと一緒に住むのは本当に難しい事もあります。どのホストファミリーも私の生活と違うからです。しかし色々な家に住むのは良い経験です。

留学生は沢山の違う生活を経験します。本当に良かったと思います。

日本に来てからの5ヶ月で私は今迄の17年間で学んだ事よりもっと一杯学んだ様に思います。

悪い日もありました。でも良い日もいっぱいありました。毎日違います。本に書いてある完全な国はないと思います。

でも日本に来て始めて色々な事が判りました。今年は私にとってとても意味ある年だと思います。ですから色々なやりがいがあると思っていますが、私は日本人を見たり、本を読んだりして日本についてももっともっと勉強したいと考えています。

ごめんなさい。私の日本語はまだ上手ではありません。私の話を聞いて下さってありがとうございました。

これはエバンスビルのデザートバレー、580からのバナーです。どうぞ受け取って下さい。

東京多摩グリーンロータリークラブ



会長：横倉 舜三 副委員長：森田 舞子
幹事：北村 幸彦 委員：海野 栄一・奥木 博勝・吉沢 洋景
会報委員長：小島 周二郎 小坂 一郎・佐伯 和廣

※例会場 多摩そごうデパート7F サファイヤバンケットルーム

事務局：東京都多摩市落合547
多摩センタービル7F
TEL 0423(72)6463/FAX 0423(72)6491

※例会日 毎週水曜日12:30 月の最終例会18:30